

持続可能な地域運営へ

自治会連合会

2月26日、自治会連合会（各自治会長）と意見交換会を開催しました。

令和10年に向け段階的に減額される自治会交付金を主軸に、運営上の課題について多くの意見をいただきました。



▲地域の代表として課題に向き合う自治会長の皆様

各自治体の戸数の変化

自治会名	令和2年	令和7年
恵みヶ丘	103	97
大通	207	207
西町	180	107
仲町	170	165
若草	217	185
かたくり	250	217
松岡・北原	63	59
東山	48	40
中和	86	81
三笠南	34	30
三和・菊野	65	54
西和福原	35	25
合計	1458	1267

主な内容として、「交付金が減る一方で事務依頼や寄付の代理徴収負担は変わらず、人財・資金面での負担が増えている」との声も上がりました。

また、人口減少に伴う会費収入減、役員のみならず、敬老会等の負担増、会館の老朽化など地域ごとの課題も含め「現状では収支が取れず、自主事業を減らざるを得ない」との強い危機感も示されました。様々な意見を町政に反映できるように努めてまいります。

より良い誌面を目指して

議会広報モニター



▲広報誌をもっと良くするためのアイデアが集まりました

3月18日、昨年度から始めた議会広報モニター制度の活動として、モニター5名と意見交換会を開催しました。1年間の活動の振り返りを行い、より良い議会だよりにするための貴重な意見をいただきました。

Q 活動を終えての感想は？

A 今まであまり読んでいませんでしたが、議会のことや町のいろいろなことが知れて面白かったです。

Q モニターアンケートや誌面の内容はどうでしたか？

A アンケートはインターネットから簡単に回答できました。誌面の内容は、何度も読み直したり家族で話題にしたりして理解を深めることができました。

Q 表紙や町民インタビューの今後の提案はありますか？

A 子育て世代としては子どもに関することを知りたいです。和寒町を陰ながら支える人なども良いと思います。